

たくましい実践力をもって、主体的・創造的に生きる子どもの育成

～複式小規模の特性を活かした学習指導の充実～

利尻富士町 複式教育研究部会

1. 研究主題・活動方針・体制等

<研究主題>

「たくましい実践力をもって、主体的・創造的に生きる子どもの育成」
～複式小規模の特性を活かした学習指導の充実～

<活動の方針>

(1) 複式教育の研究・研修活動を積極的に推進する。

①わかる授業をめざす研究活動を通し、授業改革を図る。

②子どもの変容をとらえ、個別最適な学びによる学力の保障を図る。

(2) 小中一貫教育を生かした教育活動を推進する。

①複式・単式を併用し、協働的な学びを実現する。

②乗り入れ授業の充実を図り、児童の実態に応じた授業を実施する。

(3) 宗谷複式教育研究連盟・他教育機関・団体との連携を図る。

①教育局や教育委員会、利尻島教育研究会との連携を深める。

②確実な研究推進と実りの多い成果を目指して他町村とのつながりを広める。

2. 令和4年度当初の活動計画

(1) 授業研究

利尻島研授業公開 校内授業研
校内研修

(2) 小中一貫した取組の実践

(3) ICTの活用

(4) 管内教育研究大会への参加

(5) 利尻島複式部会との連携

3. 特色ある活動・取組

(1) 授業研究

年間 1000 時間の授業の積み重ねを柱に、日々の授業の課題設定・指導言・板書事項等を記録化し、節毎に実践の検証を図り、授業改革に取り組んだ。

(2) 小中一貫した取組の実践

児童会と生徒会を組織統合し、小中学生の取組を一本化し、委員会活動を統一した。各行事や全校集会・清掃活動等、小中縦割りによる協働を進めた。

中から小への乗り入れ授業を実施し、授業の活性化に取り組んだ。

(3) ICTの活用

一人1台端末を活用した学習の振り返りや定着、個別最適な学びの実践に努めた。

(4) 管内教育研究大会への参加

町内全ての学校を臨休とし、全教職員が参加して管内教育の実践に学んだ。

(5) 利尻島研究会複式部会との連携

教科単位の研修に偏り、学校単位での研修は不十分であった。

4. 成果・課題・次年度の計画等

(1) 成果

利尻島研において、学校研究発表や授業研究を通し、校内研究や授業づくりについて研修を深めることができた。複式の授業づくりについては学力保障とあわせ、主体的で対話的な深い学びの追求が課題であるため、日常の授業の実践的検証は重要なことであった。来年度はこれを土台にステップアップを図り、学校・授業研究を推進していく。

小中一貫を進める本町においては、9年間の学びの繋がり的重要性を教職員で意思統一でき、取組が一步前進した。児童生徒の共同・協働による自然な営みが心の成長や安心な学校生活に繋がっている。

(2) 課題

昨年度より利尻島二町の町研が1つになり、利尻島教育研究会として始動して2年目となった。複式学校は本町1校、利尻町1校しかないため連携は不可欠ではあるが、島内部会サークル時の年間4回ほどしか交流出来ていないのが実情である。